

Express5800/320Fb-L, 320Fb-LR N8800-100/101 ご使用時の注意事項

このたびはExpress5800/ftサーバをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品をより安定してご使用いただく上での注意事項を記載しています。運用に先立って、必ず次の内容をご確認いただき、記載内容に従ってご対応頂きます様をお願いします。

- 注意事項 ～運用前に必要な作業～
- ユーザーズガイド補足事項

■ 注意事項

1

■ LANカード設定時の注意点

本装置では、IPv6は使用できません。IPv6のデフォルトの設定は“無効”です。
無効のままご使用ください。

■ ユーザーズガイド補足事項

1

■ ファイバチャネルボード増設時の注意点

ファイバチャネルのトポロジの変更を行う場合、initrd イメージの再作成が必要となります。
ファイバチャネルボード制御用ドライバのトポロジ設定を変更するには

/etc/modprobe.conf

を書き換えてドライバのパラメータを変更する必要があります。このパラメータを反映させるため、次の手順で initrd イメージを再作成し、システムを再起動してください。

- 1) /etc/modprobe.conf ファイルをユーザーズガイドの 8 章(8-40)を参照しながら修正してください。
- 2) 「mkinitrd --preload="geminifb acpiphp had_mod" --with="lpfc" -f
/boot/initrd-2.6.9-34.28AXsmp.HAS.img 2.6.9-34.28AXsmp」
を実行してください。
- 3) 「ls -l /boot/initrd-2.6.9-34.28AXsmp.HAS.img」と入力して、initrd イメージのタイムスタンプが更新されていることを確認してください。
- 4) 「sync」と入力してください。
- 5) システムを reboot してください。

※ (2),(3)の手順にある initrd イメージのファイル名と、カーネルバージョンについては、システムに適用されているカーネルに依存しますので、カーネルバージョンを確認の上、変更してください。

2 ■ syslogについて

システム立ち上げ時に、以下のログがsyslogに数回記録されることがあります。
これはCPUモジュールの二重化処理の過程で発生するものであり、問題はありません。
ただし、本イベントが複数回発生した後でFTステータスランプが点灯しない場合には
最寄りの販売店、保守サービス会社にご連絡ください。

SRC : HAS
ID : C00703EB
説明 : The driver failed to bind the CPU module. [Module#?]

SRC : HAS
ID : C0070835
説明 : Memory check failed.

SRC : HAS
ID : 40070D48
説明 : FT nonfatal error occurred on the Module#?

SRC : HAS
ID : 800710D6
説明 : Synchronization of the CPU module stopped.

SRC : ESMCommonService
ID : 8000051D
説明 : システムバスのECC1bitエラーが発生しました。



856-126759-003-00V